

# 常盤台便り

Letter from the Residential Tokiwadai

第167号 2026年1月15日



**旧年中は一方ならぬご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。  
本年も倍旧のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。**

レジデンシャル常盤台 職員一同

新年あけましておめでとうございます。

2026年（令和8年）は法人設立17年目となり、  
レジデンシャル常盤台は開所15年目を迎えました。

お正月になるとこの「常盤台便り」の場をお借りして、  
一年の出来事や反省や未来の在り方について毎年綴ってまいりました。  
振り返ればいつだって一年を通して沢山の出来事があります。  
政治の出来事や事件・事故、身近な税金や年金のこと、  
天変地異や自然の猛威について（一昨年1月1日は石川県能登半島の地震から一年が始まりました）、  
令和7年は感染症の猛威が落ち着いた一方、四季の国として名高い日本が冬の次が  
夏で夏の次が冬となり、春と秋がどこかへ消えてしまったかのような風情です。夏は命に危険が及ぶような暑さで、  
冬は大雪と寒波の襲来です。新しく線状降水帯なる言葉が定着し、各地で甚大な被害が勃発しています。  
介護の世界を振り返ると、限界が可視化され、それでも現場が持ちこたえつづけた1年だったといえます。  
今年も“何事”もなく健やかで一年を終えることを祈るばかりですが、“何事”もなく一年が過ぎすぎるとは  
思えません。それでも常盤台のチーム力で乗り越えていきたいと考えています。  
どうぞ今年もよろしく願います。



社会福祉法人育明会 理事長 佐原 幹夫



メインは理事長特製ビーフシチュー みんなで“メリークリスマス!!”



ケーキのおかわりはいかが？

元旦お祝い膳



職員から年賀状が届きました

あけましておめでとうございます!!

編集後記

皆さまのもとにご多幸が駆け込む年になるよう、お祈りいたします。(午年だけに)